

登録コード	A3592491	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習					担当教員	守口 海	
英文授業名	Presentation							
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加わむ対象】専門的な知識や研究能力を修得している					研究発表ポスターを用いて、自らの考えを正確かつ平易に表現できる。		
	【2022年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					研究発表ポスターを用いて、自らの考えを正確かつ平易に表現できる。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加わむ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					研究発表ポスターを用いて、自らの考えを正確かつ平易に表現できる。		
	【2024年度以前加わむ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					研究発表ポスターを用いて、自らの考えを正確かつ平易に表現できる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	卒業研究の先行研究の紹介を通し、ポスター発表の方法を演習形式で修得する。							
(5)授業計画	1. ポスター発表の目的 2. 発表ポスターの基本構成 3. 視認性・可読性 4. 研究論文とポスターの差異 5. 質疑応答 6-15. 卒業論文のテーマに関連した先行研究について発表用ポスターを作成する。 最終回の授業の最後に授業アンケートを実施する。							
(6)自主学習の指針	先行研究を検索・熟読するとともに、限られた紙面でも理解しやすいポスターを作成する。質疑応答の際に的確な応答ができるよう、先行研究のみではなく周辺分野の学修にも努めること。							
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している。（90点以上） 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある。（80～89点） 良：授業の達成目標水準よりやや上にある。（70～79点） 可：授業の達成目標水準にある。（60～69点） 不可：授業の達成目標水準にない。（59点以下）							
(8)事前事後学習の内容	事前学習：既存の研究発表ポスターを閲覧し、基本構成を抑えておくこと。 事後学習：聴講者の指摘や質疑応答を吟味し、ポスターを改良するとともに、研究に関する理解を深めること。							
(9)テストやレポートの予定	作成ポスターを以てレポートとする。							
(10)成績評価の方法	受講態度および作成物(ポスター)により総合的に評価する。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	ゼミ室またはB棟203号室にて受け付ける。							
(12)履修上の注意	出席が2/3に満たない受講者には単位を認定しない。							
【教科書】	指定しない。							
【参考書】	酒井聡樹．これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術．共立出版． 宮野公樹．学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術．化学同人．							